

【応募用紙】

提出いただいた応募書類（規約・会則等、役員名簿、収支書類を除く）は、活動内容紹介のため、ホームページ上に公開します。**応募用紙・補足資料に個人情報に記載しないようご注意ください。**

1 応募者概要

事業所	名称	(ふりがな： かぶしきかいしゃあーるいーじえい よこはまじぎょうしょ) 株式会社REJ 横浜事業所																												
	代表者役職・氏名	代表取締役社長 久保江 和広	従業員数	235名 (横浜事業所)																										
	所在地	〒236-8641 横浜市金沢区福浦2-3-2																												
	ホームページアドレス	https://www.rej.jp/company/outline/																												
	事業開始年月	1964年1月10日	環境への取組を開始した年月	2003年1月																										
	事業内容	産業機械用モータドライブ及び制御システム等の開発・製造・販売・サービス																												
	環境への取組について過去に受けた表彰等	<p>1. 独立行政法人環境再生保全機構 <野生動物の保護、緑化活動、砂漠化の防止等のため、地球環境基金に寄付></p> <table border="1"> <tr> <td>(1)</td> <td>感謝状</td> <td>平成22年(2010年)1月8日</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>感謝状</td> <td>令和2年(2020年)7月22日</td> </tr> </table> <p>2. 特定非営利活動法人Reライフスタイル <世界の子どもたちにワクチンを贈る、子どもたちの成長を支援、環境の保全のため、ペットボトルのキャップをNPO法人に納品></p> <table border="1"> <tr> <td>(1)</td> <td>感謝状</td> <td>平成24年(2012年)7月10日</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>感謝状</td> <td>平成27年(2015年)4月21日</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>長期継続社賞</td> <td>平成27年(2015年)4月21日</td> </tr> <tr> <td>(4)</td> <td>感謝状</td> <td>平成29年(2017年)4月11日</td> </tr> <tr> <td>(5)</td> <td>感謝状</td> <td>令和2年(2020年)11月9日</td> </tr> <tr> <td>(6)</td> <td>感謝状</td> <td>令和3年(2021年)3月31日</td> </tr> </table>  <p>3. 横浜市SDGs認証制度”Y-SDGs”標準</p> <table border="1"> <tr> <td>(1)</td> <td>認証</td> <td>令和3年(2021年)3月30日</td> </tr> </table>			(1)	感謝状	平成22年(2010年)1月8日	(2)	感謝状	令和2年(2020年)7月22日	(1)	感謝状	平成24年(2012年)7月10日	(2)	感謝状	平成27年(2015年)4月21日	(3)	長期継続社賞	平成27年(2015年)4月21日	(4)	感謝状	平成29年(2017年)4月11日	(5)	感謝状	令和2年(2020年)11月9日	(6)	感謝状	令和3年(2021年)3月31日	(1)	認証
(1)	感謝状	平成22年(2010年)1月8日																												
(2)	感謝状	令和2年(2020年)7月22日																												
(1)	感謝状	平成24年(2012年)7月10日																												
(2)	感謝状	平成27年(2015年)4月21日																												
(3)	長期継続社賞	平成27年(2015年)4月21日																												
(4)	感謝状	平成29年(2017年)4月11日																												
(5)	感謝状	令和2年(2020年)11月9日																												
(6)	感謝状	令和3年(2021年)3月31日																												
(1)	認証	令和3年(2021年)3月30日																												
本社	名称	株式会社REJ	所在地	横浜市金沢区福浦2-3-2																										
	総従業員数	258名	資本金	3億円																										

2 環境に対する企業理念の設定、管理体制

(1) 基本理念・自己宣言等

1. 環境方針

環境理念

株式会社REJは、地球環境の保護が最重要課題のひとつであると認識し、事業活動のあらゆる分野で環境に配慮した行動に努め、持続可能な社会の発展に貢献します。

行動指針

1. (事業を通じた地球環境への貢献)

環境配慮型製品の設計・開発・製造・販売とサービスを通じて、省資源・省エネルギー・環境保護の推進に貢献します。

2. (法令遵守と汚染の予防)

環境関連法規はもとより、環境に関する協定・指針等を遵守し、環境汚染の予防と環境リスクの削減に努めます。

3. (環境負荷の低減と循環型社会の実現)

(1) 事業活動に伴い発生する環境負荷を低減させるため、省資源・省エネルギー・資源のリサイクルを推進するとともに、廃棄物の減量化に努めます。

(2) 地球温暖化抑制のため、電力・燃料等の省エネルギー活動を推進し温室効果ガスの発生の抑制に努めます。

(3) 人の健康に害を与える環境負荷物質の低減に努めます。

4. (環境意識の向上)

全役員に対して環境教育を実施し、意識の向上を図るとともに、環境保護活動の推進を目指します。

5. (継続的改善)

環境目的・目標のPDCAサイクルを進め継続的な改善に努めます。

この環境方針は、社内に周知徹底するとともに、ホームページ等で公開します。

2. スローガン

① 3R 活動

- ・分ければ資源、混ぜればごみ
- ・リサイクル出来るものは、すべてリサイクルしましょう
- ・環境活動は日常活動です
- ・一人の100歩より、百人の1歩が大切です
- ・エコへの取り組みが毎日の暮らしを変える
- ・ペットボトルのキャップを回収し、世界の子供たちにワクチンを贈る運動
- ・1年で1件改善されると、10年で10件改善されることとなります

② 横浜事業所周辺清掃、海の公園/野島公園ボランティア清掃

- ・YOKOHAMA - Our Place - Our Responsibility
- ・地元金沢の海を大切な財産として未来へ引き継ぐお手伝い

③ SDGs への取組み

- ・未来に続く環境負荷低減に向けた技術とソリューション
- ・環境上の法令遵守、環境負荷の低減、廃棄物の減量化等への取組み
- ・次世代の豊かさのために生活の安心に貢献

(2) 環境マネジメントシステム関連

	取組等の名称	詳細内容
ア 認証等	1. <u>ISO14001</u>	1. 平成15年(2003年)12月12日～現在に至る
	2. <u>横浜市3R活動優良事業所認定</u>	2. 平成25年(2013年)～令和2年(2020年) 8年連続 
	3. <u>横浜市 SDGs 認証制度” Y-SDGs” 標準</u>	3. 令和3年(2021年)3月30日 横浜市 HP 掲載  横浜市 y-SDGs 認証制度 HP 掲載 
イ 組織体制	1. <u>環境マネジメントシステ</u>	1. 環境マネジメントシステム体制

	<u>ム体制</u> (1) トップマネジメント (2) 環境管理責任者 (3) SDGs 環境委員会 (4) 環境推進リーダー <u>2. 環境社会検定試験(eco 検定)合格者</u>	(1) 代表取締役社長 (2) 当社横浜事業所の SDGs への貢献及び環境管理業務を統括・推進する責任者を指し、横浜事業所長（常務取締役）が担当する。又、環境管理責任者は SDGs 環境委員長を兼任する。 (3) SDGs への貢献及び EMS を推進するための企画・立案・審議等を行う。毎月 1 回開催 (4) 各所属における SDGs 及び EMS の推進担当者であり、所属長が管下の従業員の中から任命する。 2. 1 名(平成 27 年(2015 年)7 月 26 日)
ウ チェック 機構	<u>1. 環境上の遵守義務登録及び評価</u> <u>2. トラブルへの適切対応</u>	1-1. 「IS014001」の仕組みで環境マネジメントレビューの際、経営層へ報告(年 1 回) 1-2. SGS ジャパン株式会社による環境上の遵守義務審査(年 1 回) 2. 「IS014001」の仕組みで「環境情報通知書・対応書」を使用し、情報の内容、対応方法と対応結果を記録
エ その他の 取組	<u>1. 環境教育</u>	1-1. 従業員及び横浜事業所構内協力会社へ環境教育を実施(年 1 回) 1-2. 環境教育の認識度の確認 「教育・訓練認識シート」を作成し受講者が 1~5 点の点数を記入、理解度点数が低い場合はフォローアップ教育を実施

(3) 取組結果等の公表・広報

<u>1. 当社ホームページ</u> (1) 環境への取組み、環境方針、製品技術情報、RoHS対応、IS014001取得等を公開 <u>2. イプロスものづくりWeb</u> (1) 当社の企業情報、製品サービス、カタログ、ニュースを公開 <u>3. タウンニュース</u> (1) 横浜市金沢区役所主催の「脱温暖化普及啓発パネル展」(場所：金沢区役所)に出展(平成 22 年(2010 年)11 月 11 日) *掲載地区：金沢区版 (2) 横浜市 SDGs 認証制度”Y-SDGs”取得企業及び“省エネで貢献する企業”として掲載(令和 3 年(2021 年)8 月 26 日) *掲載地区：金沢区・磯子区版 <u>4. 独立行政法人環境再生保全機構</u> ① Web (1) ご支援の紹介(平成 24 年度) (2) 感謝状の贈呈(令和元年度) 右記 (3) 基金へのご支援(令和 3 年度 8 月)<直近> ② 地球環境基金便り No.28 (1) 環境募金活動が掲載(平成 22 年(2010 年)3 月 1 日) ③ 地球環境基金のご案内リーフレット	
---	--

(1) 職場の各フロアに募金箱設置を掲載(平成 25 年(2013 年)3 月)
5. 横浜市記者発表資料
(1) 横浜化学工業団地共同組合の電気自動車シェアリング事業に参画(平成 23 年(2011 年)2 月 6 日)
6. 日本経済新聞
(1) 横浜化学工業団地共同組合の電気自動車シェアリング事業に参画(平成 23 年(2011 年)2 月 23 日)
7. NHK 首都圏ネットワーク
(1) 横浜化学工業団地共同組合の電気自動車シェアリング事業に参画(平成 23 年(2011 年)2 月 22 日)

3 事業活動において環境に配慮している取組、社会貢献活動

※取組や活動を開始した年度も記載してください。

	取組・活動等の名称	詳細内容	※(もし該当がある場合は、SDGs の目標番号を記入)	
(1) 環境に配慮した製品や技術開発、サービス等の提供・導入	1. 環境貢献製品一覧	各種産業界へ大幅な省エネ面で環境に寄与	7、9、13	
		貢献製品 (コントローラ：Compact PSC)		<ul style="list-style-type: none"> ・高速演算、高速同期通信 ・小型、省スペース ・省配線対応 ・RoHS対応
		貢献製品 (電源回生コンバータ：SS4000)		<ul style="list-style-type: none"> ・高調波抑制 (力率 1 制御) ・RoHS対応
		貢献製品 (インバータ：VZ7000、Drive MuLti)		<ul style="list-style-type: none"> ・小型、省スペース ・省配線対応 ・コントローラ内蔵製品 ・低損失、低ノイズ対応 ・RoHS対応
		貢献製品 (共通コンバータ)		<ul style="list-style-type: none"> ・制御盤の小型化 ・省スペース
		貢献製品 (エネルギーマネジメント)		<ul style="list-style-type: none"> ・受電容量削減 (ピーク電力カット) ・電源バックアップ
		トータルエンジニアリング		<ul style="list-style-type: none"> ・自社製品/EMS製品の開発・製造 ・産業機械用モータドライブシステムの制御 ・幅広いアフターサービス
		リアルタイムの面で環境に寄与	11	
		遠隔サポート <ul style="list-style-type: none"> ・ei-Services (異常通知メールサービス) ・ORTAS (リモートメンテナンスサービス) 顧客に設置された産業機械の制御装置に不具合が発生した際、機械の制御装置に繋がれたパソコンと当社の専用回線を繋ぎ、リモートメンテナンスシステムで復旧作業をサポート		
(2)省エネ・	1. 電気使用量の	1-1. デマンド監視装置による電力監視	7、13	

<p>C02 排出量削減 の 取組</p>	<p>削減</p> <p>2. フロン排出抑制法の遵守</p> <p>3. 紙使用量の削減</p> <p>4. 事務消耗品の購入</p>	<p>1-2. 冷暖房温度の適正管理 1-3. 作業場の LED 化</p> <p>2. エアコン、冷凍冷蔵機器等の簡易点検、定期点検</p> <p>3. 裏紙/N アップの使用、原則カラーコピー禁止</p> <p>4. エコマーク商品を購入</p>	<p>13</p> <p>12</p> <p>12</p>									
<p>(3) 廃棄物削減の取組</p>	<p>1. 3R への取組み</p>	<p>1-1. ごみの分別は 31 品目、ごみ分別をスタートさせる際、個人・会議室のごみ箱を撤去し、清掃委託業務費用を削減。コピー用紙を資源化で縛る際は、「紙紐」を使用 マニフェスト計量を m³ から kg へ変更</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>会議室のごみ箱を撤去</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ごみ分別表(31品目)を掲示</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>紙紐</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ごみの分別を分かり易く表示</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ペットボトルのキャップ回収</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>横浜市資源循環局HP掲載</p> </div> </div> <p>1-2. 横浜市 3R 活動優良事業所認定 平成 25 年(2013 年)～令和 2 年(2020 年) 8 年連続</p> <p>1-3. 横浜市への減量化・資源化等計画書報告での資源化率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">(1)</td> <td style="width: 60%;">令和2年度(2020年度)</td> <td style="width: 30%;">94.1%</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>令和元年度(2019年度)</td> <td>95.3%</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>平成30年度(2018年度)</td> <td>95.5%</td> </tr> </table> <p>一般ごみ(燃やすごみ)、食品ざんさ、その他(廃プラスチック類)以外は 100%資源化</p> <p>1-4. 剥離紙の資源化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 422.15kg (平成 23 年(2011 年)2 月～令和 3 年(2021 年)10 月) ・ 段ボール箱のフルート(ナミナミした波型)へ再生 ・ 剥離紙のごみ箱は、コピー用紙の箱を使用し手作り <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>剥離紙のごみ箱</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>段ボール箱のフルート</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>剥離紙のごみ箱に異物混入防止対策</p> </div> </div> <p>1-5. 横浜市廃棄物管理責任者講習会講師担当</p>	(1)	令和2年度(2020年度)	94.1%	(2)	令和元年度(2019年度)	95.3%	(3)	平成30年度(2018年度)	95.5%	<p>12</p> <p>12</p> <p>12</p> <p>12</p> <p>12</p> <p>12、17</p>
(1)	令和2年度(2020年度)	94.1%										
(2)	令和元年度(2019年度)	95.3%										
(3)	平成30年度(2018年度)	95.5%										

- ・横浜市資源循環局長より講師派遣要請を受けて講師を担当
- ・開催日：平成 27 年(2015 年)7 月 30 日（午前・午後）
- ・場所：関内ホール
- ・出席者：1,165 名
- ・紙の資源化について、横浜市は市民へレシート 1 枚から協力要請、当社は従業員へ付箋 1 枚から教育していることを強く述べた。
- ・講習会終了後、出席者より横浜市資源循環局を經由して 3 件の質問、また出席した〇社より直接質問を受けて回答した。

質問	回答
御社では、作業服やユニフォームを廃棄する際、ボタンやファスナー等も分別されているのでしょうか？	分別していません。作業服やユニフォームの廃棄については、当社と産業廃棄物処理委託業者で相談した結果、廃プラスチック類の産業廃棄物として排出し、中間処理業者で破碎処分し、路盤材としてリサイクルしています。
環境必携（右記上図）（A5 サイズ版で従業員が胸ポケットに携帯）、教育訓練自覚シート（当時の名称（右記下図））について詳しく教えてください。	 <p>環境方針、全社・部門環境目標、受講確認印欄等を記載、私の目標・役割・私が実行できることを従業員が記入</p>  <p>全社環境教育で習得した内容をテストして認識を確認</p>
※「環境必携」及び「テスト」は現在非公開	



関内ホール



講習会資料 1



講習会資料 2

2. 海洋プラスチック対策

2-1. 廃プラスチックは 100%資源化

2-2. 従業員及びその家族と海の公園、野島公園のボランティア清掃を通じて自然共生体験

(1)	海の公園ボランティア清掃	通算7回 平成24年(2012年)5月～平成30年(2018年)10月実施
-----	--------------	---------------------------------------

12

14、15

	<p>12つくる責任つかう責任：22.0% 3 すべての人に健康と福祉を：10.3% 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに：8.5%</p> <p>・アンケートの1 貧困をなくそう 4.5%、2 飢餓をゼロに 4.0% を受けて、「世界食糧デー」である 10 月を飢餓募金キャンペーンの期間と定め実施、国連 WFP 協会へ 10,936 円寄付した。(令和 3 年(2021 年)11 月 16 日)</p>	   <p>アンケート集計 正門で飢餓募金を呼びかけ ヨコハマ SDGs 文化祭 2021 参加</p>	1、2、3
5. ISO14001 への取組み	<p>5-1. ISO14001 審査で 12 年連続(平成 23 年(2010 年)～令和 3 年(2021 年) “特筆すべき点(ストロングポイント)” を受けた。</p> <p>5-2. 環境側面と SDGs17 ゴールとの関連付けを展開し活動</p>		4、17
6. ヨコハマ SDGs 文化祭 2021 参加	6. ヨコハマ SDGs 文化祭 2021 に参加(令和 3 年(2021 年)7 月 10 日)し、理解促進		4、17

※SDGs（持続可能な開発目標）を達成するための活動の中で、環境の保全や環境教育など、環境に関する活動は応募対象となるため、参考までに御記入いただくものです。該当しない場合は記入不要です。

4 成果を上げている取組や先駆的・模範的な取組・事業

取組や事業の名称	詳細内容															
1. 省エネ製品とアプリケーション	<p>1. 一般的にモータを駆動するインバータは交流電源の供給により動作しますが、機械を減速、停止させる時の回生エネルギーは、抵抗器により熱として放出され、電力の消費と環境を悪化させます。 株式会社 REJ は、日本におけるモータ制御のパイオニアとして、1980 年代から回生エネルギーをコンデンサに蓄電する方式、また同時に動作するモータで消費する共通コンバータ (DC BUS) 方式を開発、提供しました。</p>															
2. RoHS 指令への対応 (環境にやさしい製品の製造)	<p>2. 家電製品や産業用電気製品には鉛などの有害物質が使用されており、環境への影響が大きな問題となっています。EU においては、RoHS 指令により 2006 年 7 月より有害 6 物質の含有量が制限されます。株式会社 REJ では、EU の RoHS 指令施行に先駆けて、RoHS 対応の製造ラインを完備し、2006 年 1 月から出荷する製品について順次対応を行っています。</p>															
3. 社会・地域貢献	<p>3. 社会・地域貢献</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>活動期間</th> <th>利害関係者</th> <th>成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>環境募金</td> <td>平成 15 年(2003 年)8 月～現在 [18 年 3 ヶ月継続]</td> <td>独立行政法人環境再生保全機構</td> <td>552,215 円</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>横浜事業所周辺清掃</td> <td>平成 17 年(2005 年)7 月～現在 [16 年 4 ヶ月継続]</td> <td>横浜事業所の近隣会社・地域社会</td> <td>168 回実施 延べ参加者 3,704 名 回収量 1,838kg</td> </tr> </tbody> </table>		内容	活動期間	利害関係者	成果	(1)	環境募金	平成 15 年(2003 年)8 月～現在 [18 年 3 ヶ月継続]	独立行政法人環境再生保全機構	552,215 円	(2)	横浜事業所周辺清掃	平成 17 年(2005 年)7 月～現在 [16 年 4 ヶ月継続]	横浜事業所の近隣会社・地域社会	168 回実施 延べ参加者 3,704 名 回収量 1,838kg
	内容	活動期間	利害関係者	成果												
(1)	環境募金	平成 15 年(2003 年)8 月～現在 [18 年 3 ヶ月継続]	独立行政法人環境再生保全機構	552,215 円												
(2)	横浜事業所周辺清掃	平成 17 年(2005 年)7 月～現在 [16 年 4 ヶ月継続]	横浜事業所の近隣会社・地域社会	168 回実施 延べ参加者 3,704 名 回収量 1,838kg												

(3)	世界の子どもたちへワクチンを贈る運動	平成 20 年(2008 年)8 月～現在 [13 年 3 ヶ月継続]	NPO 法人 Re ライフスタイル	543.8kg BCD(結核)ワクチン約 217,520 個
(4)	剥離紙を分別回収し、段ボール箱のフルート(ナミナミした波型)へ再生	平成 23 年(2011 年)2 月～現在 [10 年 9 ヶ月継続]	興栄紙材株式会社	422.15kg

5 今後の取組・活動方針

※次年度以降の目標や継続のための取組・活動方針も含めて具体的に記入してください。

※現在活動休止中の場合でも、今後の活動の見込みや方針について御記入ください。

1. 当社ホームページに SDGs への取組み、SDGs 取組み事例を公開(2021 年 12 月)
和文、英文を掲載します。

2. SDGs 部門別教育を開催(2022 年 1 月から)

トップマネジメントから「SDGs 達成に向けてどのように取組んでいくかについては、事業活動を通じて SDGs に貢献したい。各部門別に SDGs 教育を実施して当社の事業活動が SDGs とつながっていることの理解を深めて活動して欲しい。」という指示があり社内展開します。

3. 社会的価値と企業的価値を創出、

引き続き、一人ひとりが環境保全や環境への影響を低減する意識をベースに、環境法規制の遵守、環境パフォーマンスの向上(コスト、工数、無駄などの削減)、SDGs 達成に向けた活動などに取組みます。更に、利害関係者からの信頼性の向上を図り、社会的価値と企業的価値を創出し、持続可能な社会の実現を目指します。

4. 海の公園ボランティア清掃を実施(2022 年 2 月～3 月)

新型コロナウイルス感染の状況を考慮し検討します。参加は従業員及びその家族、協力会社に呼びかけます。

6 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

- 最も注目してもらい・評価してもらいたい取組
- 一番成果があがっていると思う取組
- 他の企業と異なる強み・独自性
- 取組の過程で、どのような努力・苦勞があったか など

●最も注目してもらい・評価してもらいたい取組

⇒“継続は力なり”をモットーに 2003 年 1 月より環境活動をスタートさせて地道に社会貢献・地域貢献活動に取組んでいることです。

●一番成果があがっていると思う取組

⇒3R 活動

ごみの分別を 31 品目として活動し、横浜市 3R 活動優良事業所認定を 8 年連続取得。その間、平成 27 年(2015 年)に横浜市資源循環局より横浜市廃棄物管理責任者講習会講師の派遣の依頼がありました。その理由は中小企業から横浜市資源循環局へ“どのようにごみの分別を行えばよいのか”分からないという問合せに対して、当社の 3R 活動がユニークであり、十分中小企業において 3R 活動が出来るという事でありました。例えば、ごみを分別するため、個人・会議室のごみ箱を撤去、剥離紙のごみ箱はコピー用紙の箱を使用した手作り品、付箋 1 枚から紙の資源化、無理せず 1 年に 1 つ新しい取組みを行うなどです。

●他の企業と異なる強み・独自性

⇒当社は、1964 年の設立以来、モータドライブソリューションのパイオニアとして、各種産業機械(鉄/非鉄金属業界、自動車業界、紙/ダンボール/フィルム業界等)で必要とされる制御システムを築き上げてきました。

幅広い業種の機械制御で培った技術力とノウハウは当社の強みであり、モータドライブに最適な制御機器を開発する技術、産業機械に最適な制御システムを設計する技術、そして、機械のライフサイクルに応じて最適にサービスをする技術、これら3つの技術力を更に強化するために、挑戦と成長をし続けています。

●取組の過程で、どのような努力・苦勞があったか など

⇒環境活動は全てを一度には出来ないのので1年に1つ新しい取組みを加えていきました。横浜市資源循環局の立入調査時の指導・助言を真摯に受け止め、社内の調整、理解を深めながら地道に環境活動を展開しました。

	横浜市資源循環局の立入調査時の指導・助言、対応	立入調査年月日
(1)	① 一般ごみ箱に、カップ麺の容器が混入。カップ麺は廃プラスチックで分別する。 ⇒平成21年(2009年)2月から実施済み	平成20年(2008年)11月19日
(2)	① 剥離紙の分別を検討する。 ⇒平成23年(2011年)2月から実施済み	平成22年(2010年)9月13日
(3)	① 食堂のざんさ物を計量する。 ⇒平成25年(2013年)1月から実施済み。	平成24年(2012年)11月1日
(4)	① 一般ごみ箱に、紙が混入。 ② 家庭ごみの水切り【目安：ペットボトルのキャップ1杯(4g)】最近ごみの水切りをしない家庭が増えているため、ごみを焼却する前に熱風でごみを乾かす工程の温度が120度から160度へ上昇して燃料費が増加した。 ③MYバックを普及させて、レジ袋の発生抑制に努める。 ⇒平成25年(2013年)8月23日環境教育で全従業員へ教育済み。	平成25年(2013年)7月5日
(5)	① 一般ごみ箱の中に廃プラスチックの包装状態のバームクーヘンが入っていたので、一般ごみと廃プラスチックの2分別とする。 ⇒平成26年(2014年)9月18日環境教育で全従業員へ教育済み。	平成26年(2014年)7月8日

	環境活動の内容	活動開始年月
(1)	ごみ分別	平成15年(2003年)7月
(2)	環境募金	平成15年(2003年)8月
(3)	横浜事業所周辺清掃	平成17年(2005年)7月
(4)	食堂のざんさ物をたい肥化 (現在休止)	平成18年(2006年)9月
(5)	MY箸運動/食堂の割箸は使用しない運動 (現在休止) (現在、食堂ではプラスチック箸を使用)	平成20年(2008年)8月
(6)	ペットボトルのキャップを回収し世界の子どもたちへワクチンを贈る運動	平成20年(2008年)8月
(7)	ノーマイカー運動 (現在休止)	平成20年(2008年)8月
(8)	カップ麺等の臭いのある廃プラスチックを一般ごみから廃プラスチックごみで回収	平成21年(2009年)2月
(9)	ペットボトルを3分別	平成23年(2011年)2月
(10)	剥離紙を分別し、段ボール箱のフラットに資源化	平成23年(2011年)2月
(11)	電池を分別し、路盤材、鉄などに資源化	平成24年(2012年)3月
(12)	海の公園ボランティア清掃	平成24年(2012年)5月
(13)	野島公園ボランティア清掃	平成26年(2014年)3月
(14)	リユース文庫	平成26年(2014年)7月
(15)	たばこの箱を3分別	平成28年(2016年)7月
(16)	ブリックパックの中がアルミ貼りのものは、一般ごみ(燃えるごみ)へ分別	平成28年(2016年)7月
(17)	飢餓募金	令和3年(2021年)10月

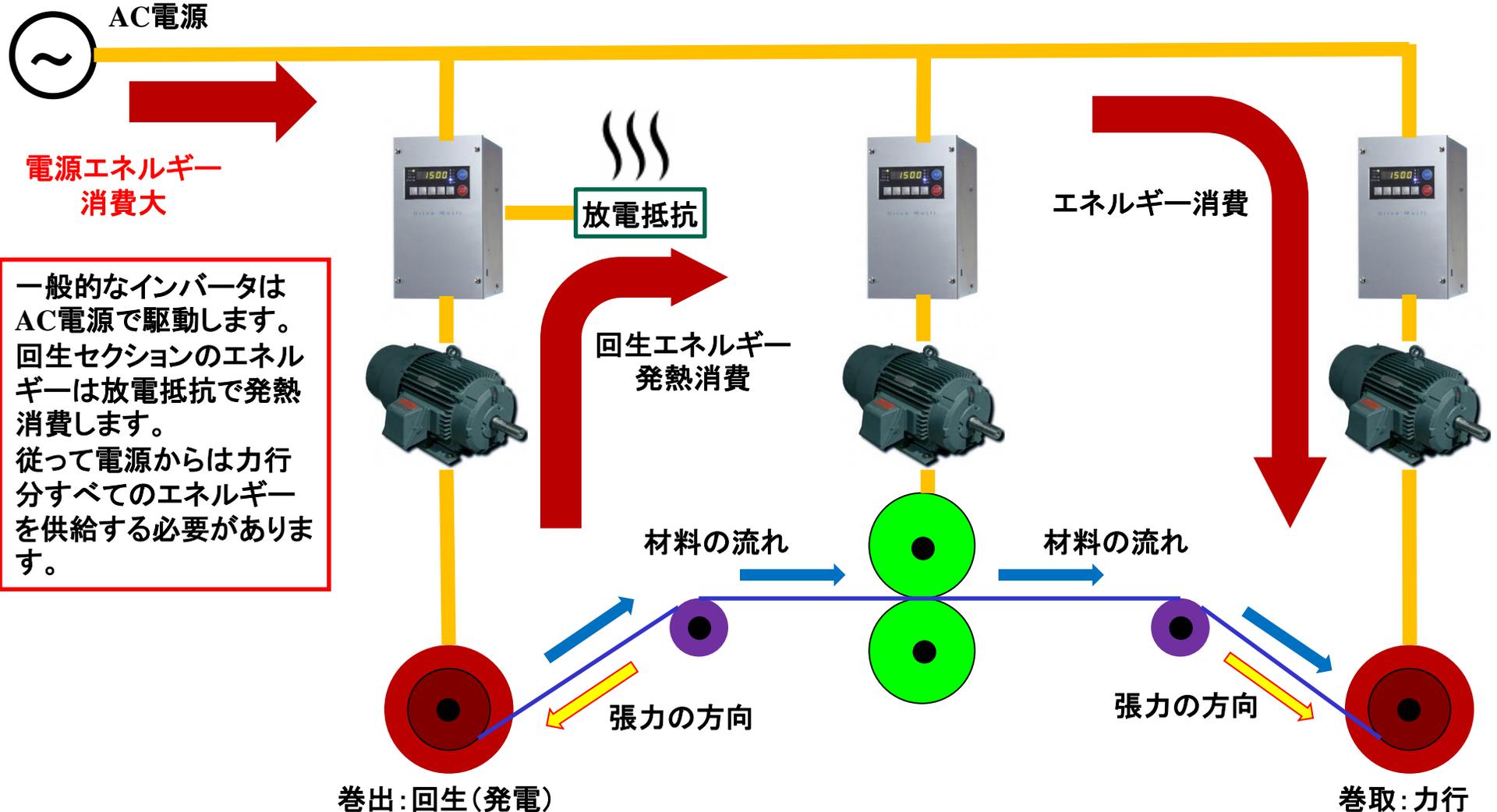
省エネ製品とアプリケーション

株式会社REJの省エネ製品とそのアプリケーション技術の事例を紹介いたします。

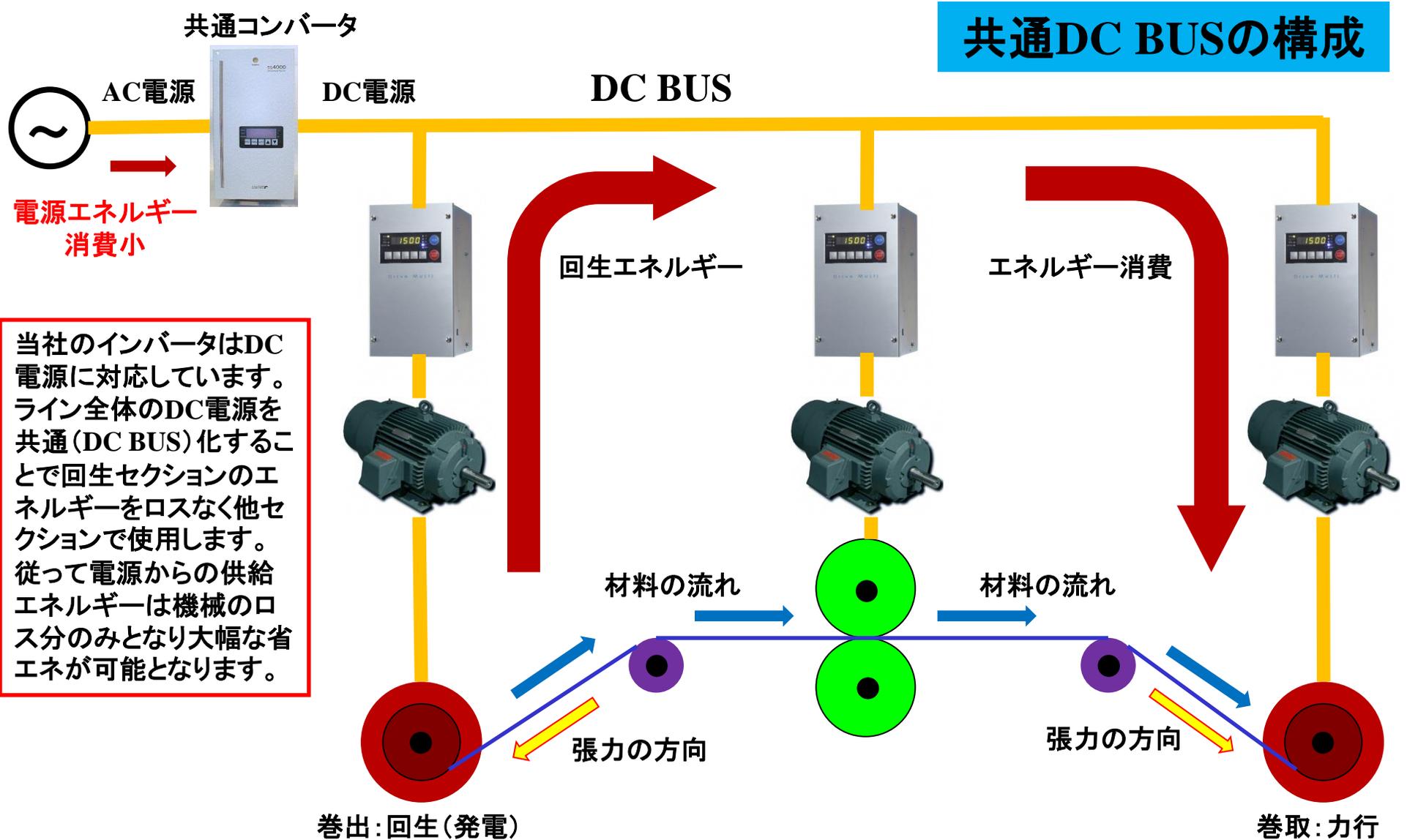
1. 共通DC BUSによるインバータ駆動
2. コンデンサバンクによる回生電力の再利用
3. 正弦波電源回生コンバータSS4000

1. 共通 DC BUSによるインバータ駆動

一般的な構成

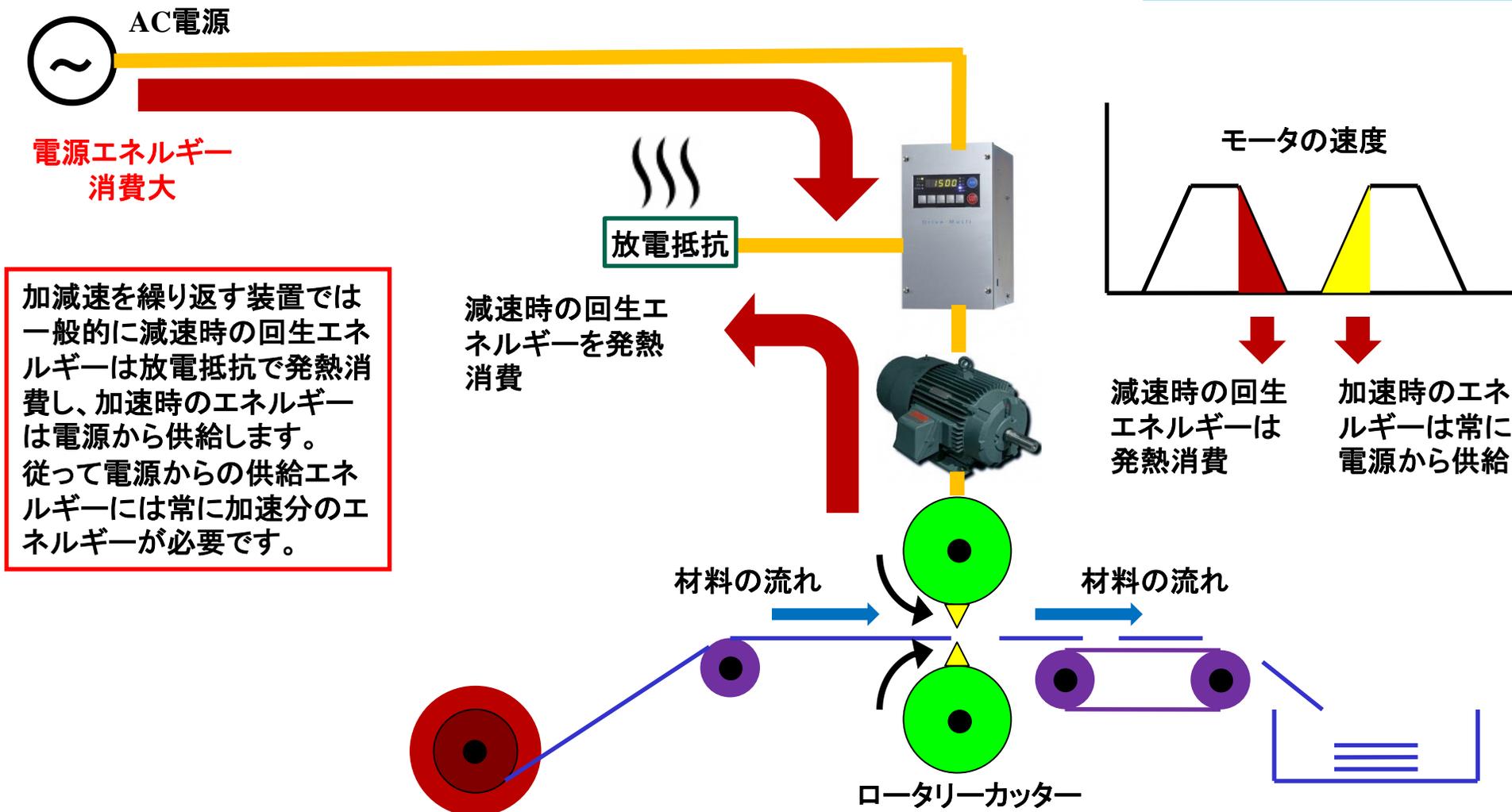


1. 共通 DC BUSによるインバータ駆動

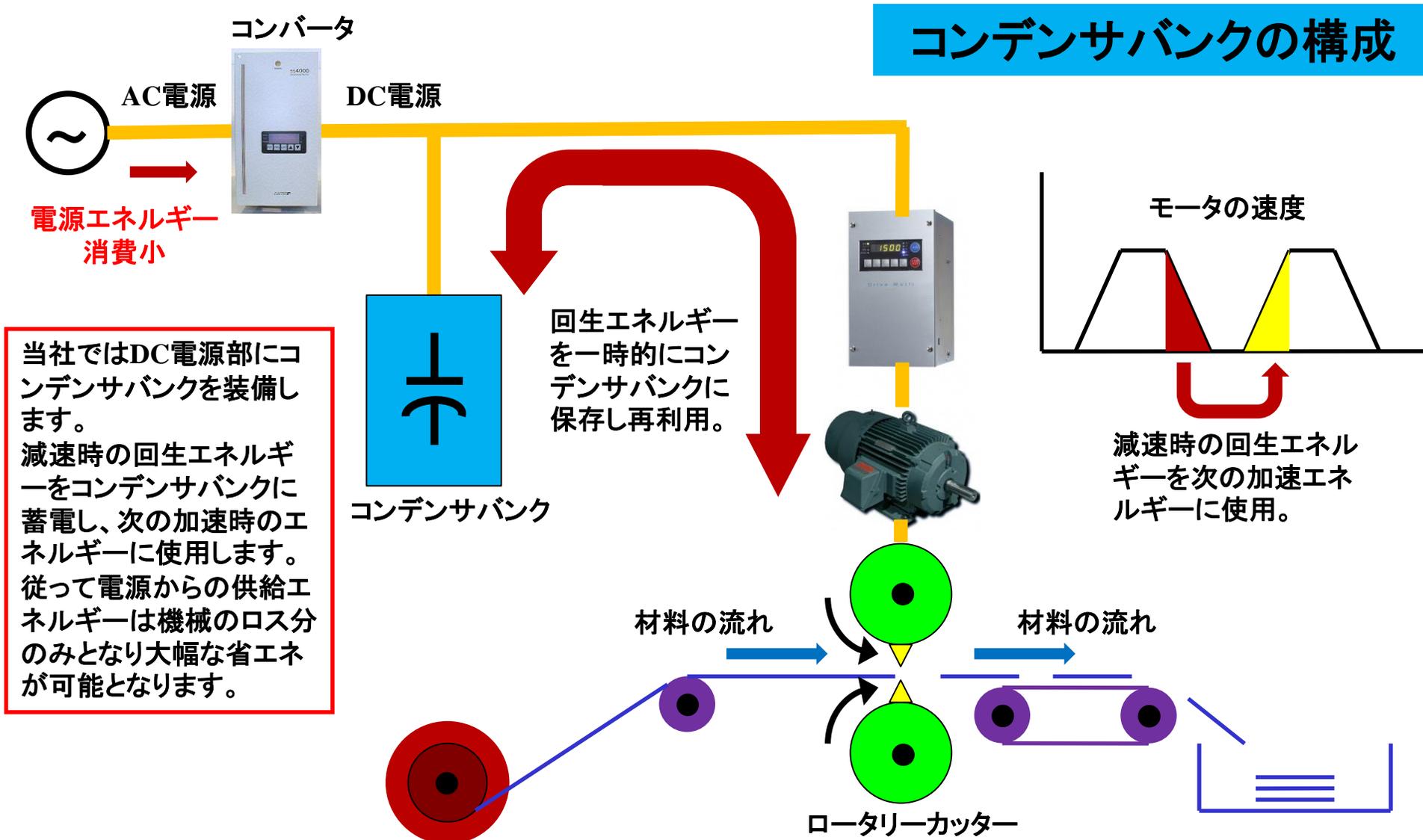


2. コンデンサバンクによる回生エネルギーの再利用

一般的な構成



2. コンデンサバンクによる回生エネルギーの再利用

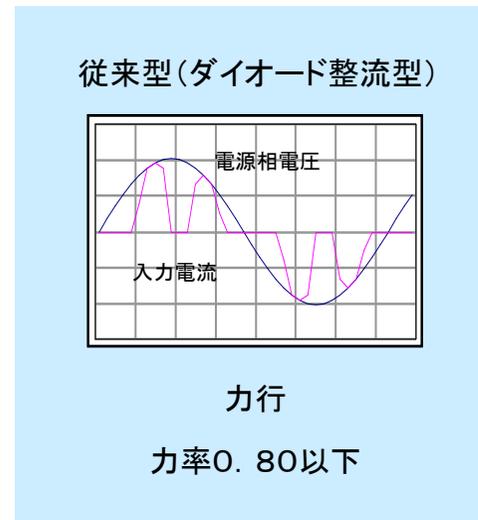
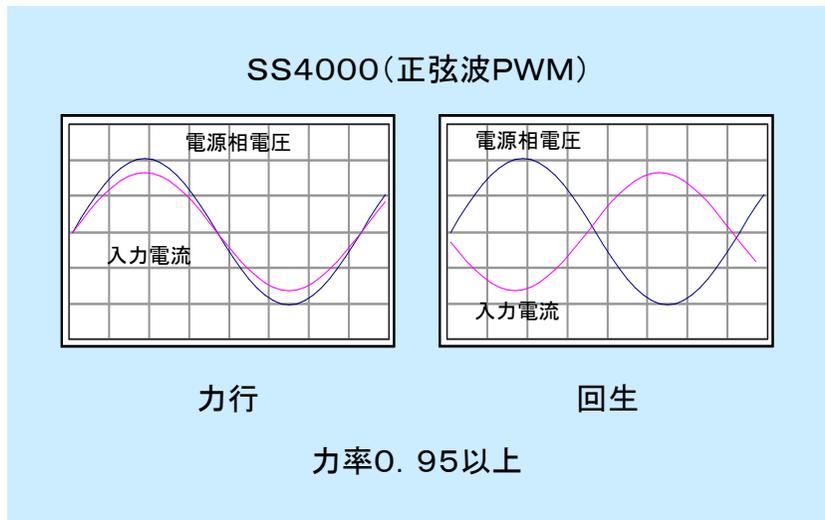


3. 正弦波電源回生コンバータ SS4000

従来のダイオード整流型コンバータは、ダイオードの整流機能を使ってDCバス電圧をつくっていました。正弦波PWMコンバータは、ダイオードの部分をトランジスタに置き換え、そのスイッチング動作によって、入力電源波形を正弦波になるように制御している直流電源装置です。

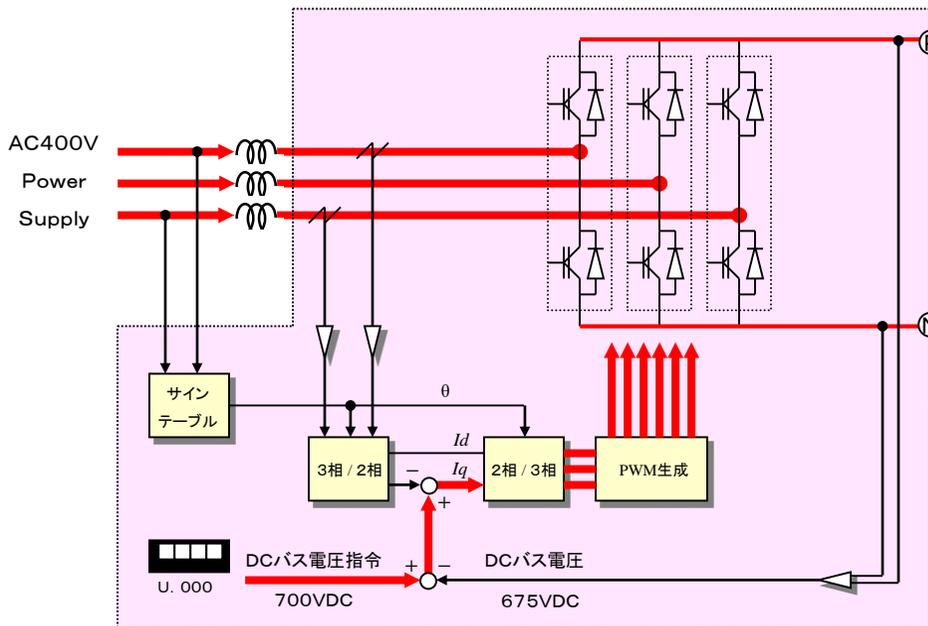
入力電流は入力電源電圧位相と完全同期しており、力率は0.95以上を実現しています。またDCバス電圧を一定に保ち、回生モードと力行モードの切り替えを自動的に行います。ダイオード整流型コンバータでは回生エネルギーを放電抵抗による発熱で消費しますが、正弦波PWMコンバータは回生エネルギーを電源へ戻し消費しません。

電源電流波形

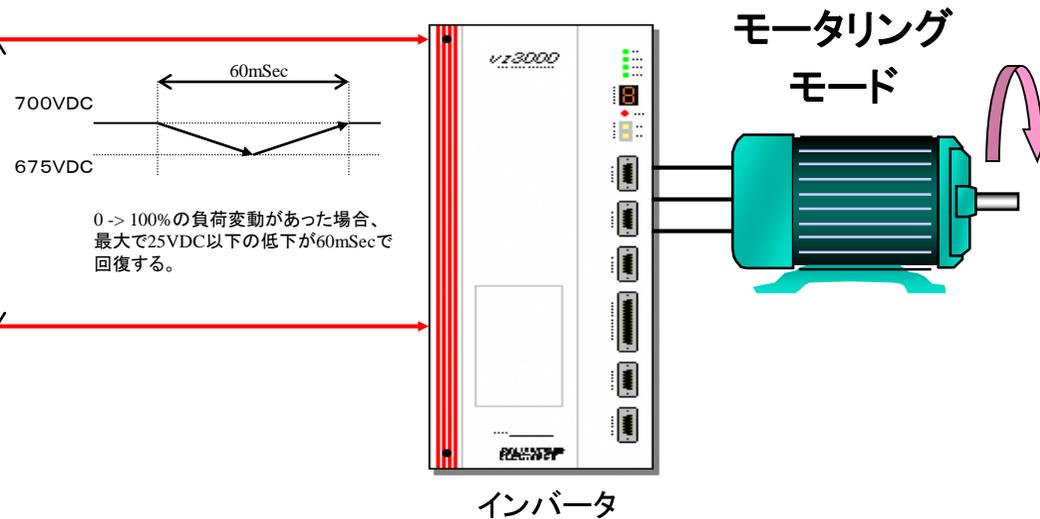


3. 正弦波電源回生コンバータ SS4000

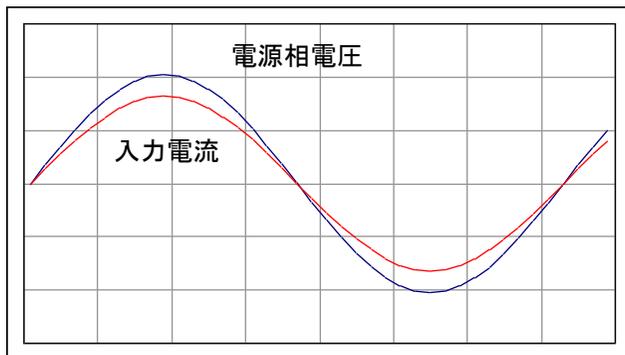
電力方向



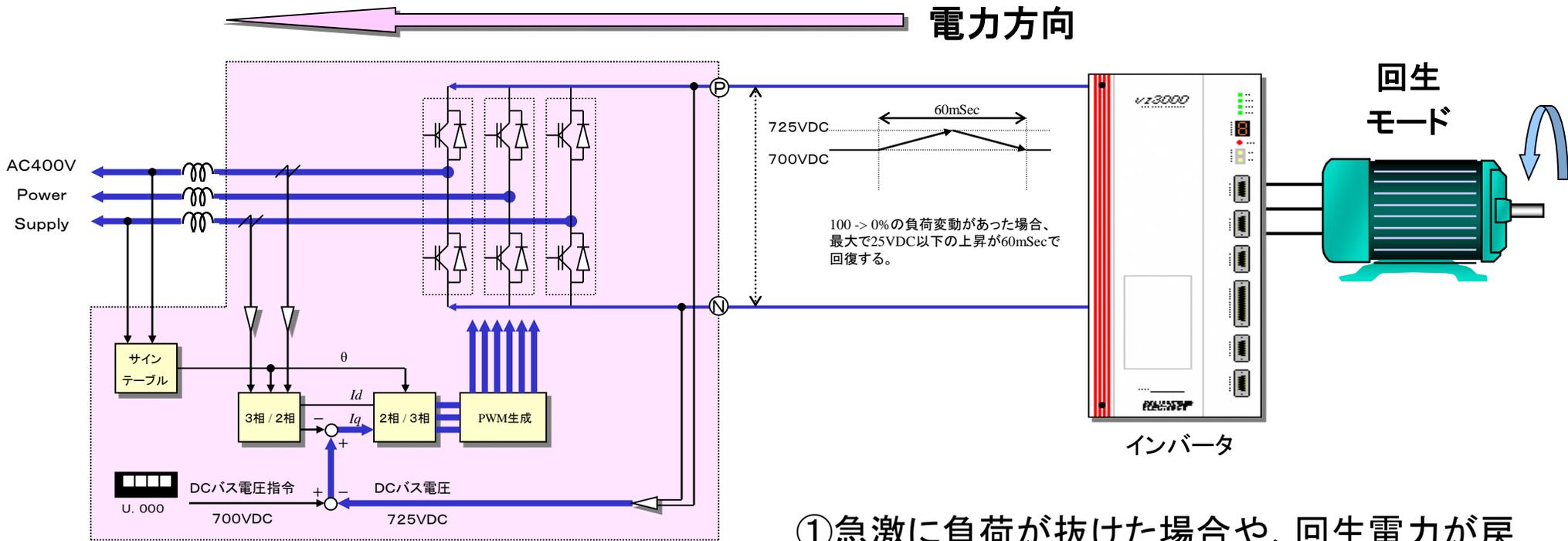
SS4000



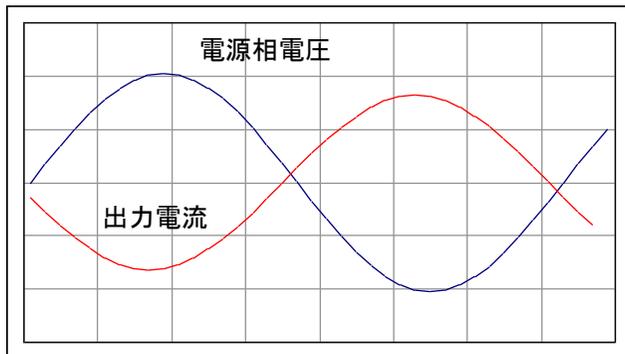
- ① 急激に負荷がかかった場合や、入力電源電圧の低下があった場合、DCバス電圧が低下します。
- ② DCバス電圧指令値よりも実際のDCバス電圧が低下した場合、SS4000は入力電流を増やす方向にPWM信号を生成し、電源から電流を流し込む。その結果DCバス電圧が上昇し、DCバス電圧指令値が保たれます。



3. 正弦波電源回生コンバータ SS4000



SS4000



- ①急激に負荷が抜けた場合や、回生電力が戻る場合、または入力電源電圧の上昇があった場合、DCバス電圧が上昇します。
- ②DCバス電圧指令値よりも実際のDCバス電圧が上昇した場合、SS4000は入力電流を減らし、出力する方向にPWM信号を生成し、電源へ電流を戻す。その結果DCバス電圧が低下し、DCバス電圧指令値が保たれます。

3. 正弦波電源回生コンバータ SS4000

SS4000は定常的に回生状態となる設備に最適です。
また、電源高調波を抑制したい場合に有効にご使用頂けます。

使用例

- クレーン設備
- 巻出装置
- テストスタンド用負荷装置
- 三次元トランスファ
- その他